



2019年3月期 決算説明資料

代表取締役社長 船越 真樹

証券コード **4709**

1

What`s ID Group?

2

2019年3月期決算概況

3

Next 50 Episode I 覚醒 (Awakening) !

- さらなる持続的成長とグループ全体の企業価値の最大化を図るため、「**グループ経営**」と「**事業執行**」を分離する新たなグループ経営体制を構築する。

ID Holdings



1. グループ全体での成長の実現

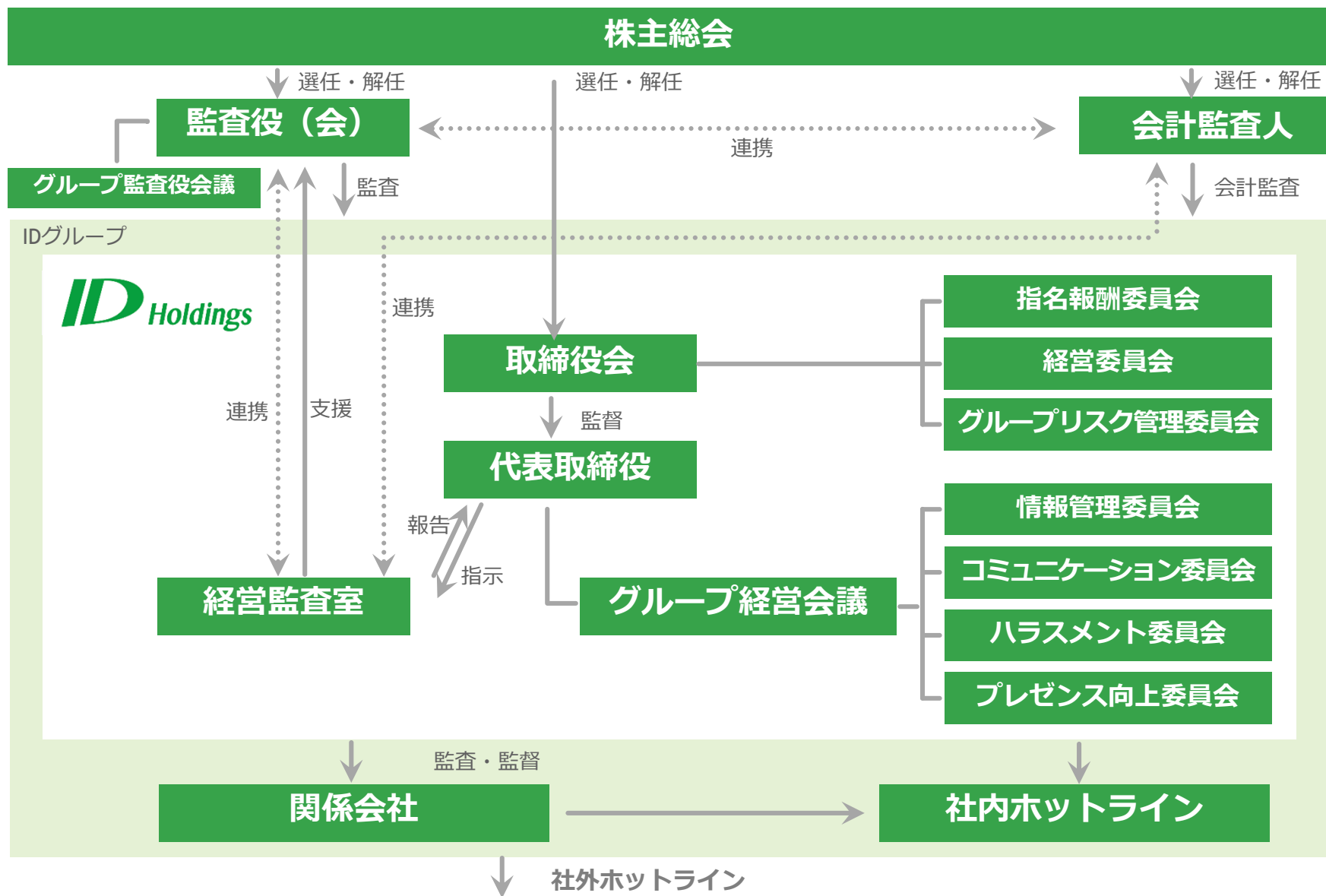
全体最適の視点から、経営資源の分配と、成長市場における投資（M&Aを含む）を実行する

2. スピーディな意思決定

事業戦略策定と推進における権限をあわせて委譲し、スピーディな意思決定が可能となる

3. 次世代の経営者育成

事業会社に権限を委譲し、次世代の経営幹部を育成する



(株) インテグレックス

中村好伸法律事務所

(株) Eパートナー

※取締役：6名（社外2名）
監査役：4名（社外3名）

ID Holdings

資本金 5億9,234万円
 創立 1969年10月
 社員数 連結 2,369名

Change or Die!

INFORMATION DEVELOPMENT
社 情報・開発

- 資本金 4億円
- 設立 2019年
- 社員数 1,752名
- 出資比率 IDHD:100%

フェス

- 資本金 6,000万円
- 設立 1999年
- 社員数 405名
- 出資比率 IDHD:100%

プライド

- 資本金 4,000万円
- 設立 1988年
- 社員数 22名
- 出資比率 IDHD:92.7%

AI FACTORY
愛ファクトリー

- 資本金 5,000万円
- 設立 2014年
- 社員数 23名
- 出資比率 IDHD:98.0%
 フェス:2.0%

ID 武漢

- 資本金 110万米ドル
- 設立 2004年
- 社員数 131名
- 出資比率 ID:100%

ID シンガポール

- 資本金 573万
 シンガポールドル
- 設立 2012年
- 社員数 26名
- 出資比率 ID:100%

ID ミャンマー

- 資本金 127万米ドル
- 設立 2015年
- 社員数 8名
- 出資比率 ID83.9%
 IDシンガポール16.1%

ID アメリカ

- 資本金 550万米ドル
- 設立 2012年
- 社員数 2名
- 出資比率 ID:100%

※ 社員数は2019年3月31日現在。

■ 私たちは、社会インフラを支える情報サービス企業の一員として、**環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）**のさまざまな課題に継続的に取り組んでいきます。

特例子会社「愛ファクトリー」

障がい者雇用促進を目的に、2014年にIDのグループ会社として設立。

2016年には、特例子会社の認定を受け、葉物野菜栽培を行っています。



芸術文化活動の支援

新内浄瑠璃の継承者・重要無形文化財保持者(人間国宝)である鶴賀流第11代家元鶴賀若狭掾師匠、
日本スペインギター協会等への支援

協賛支援コンサート：2018年度 10回

華中科技大学において奨学金制度を運営

湖北経済学院において日本語講座基金を運営

江漢大学において日本語学習奨学金制度を運営

社員寮への留学生の受け入れ

次世代育成のための研究助成

島根大学教授(臨床心理士)岩宮恵子氏の研究を支援



協賛・支援による社会貢献



日本セーリング連盟
「日の丸セーラーズ」
の協賛支援

イノベーションを推進するコミュニティ「VENTURE CAFÉ TOKYO」の協賛



地雷除去活動のサポート



IDentity

誇り/Pride

私たちは、損か得かで判断するのではなく、正しいか正しくないかで行動します。

ミッション/Mission

私たちは情報サービス企業として、
わくわくする未来創りに参加します。

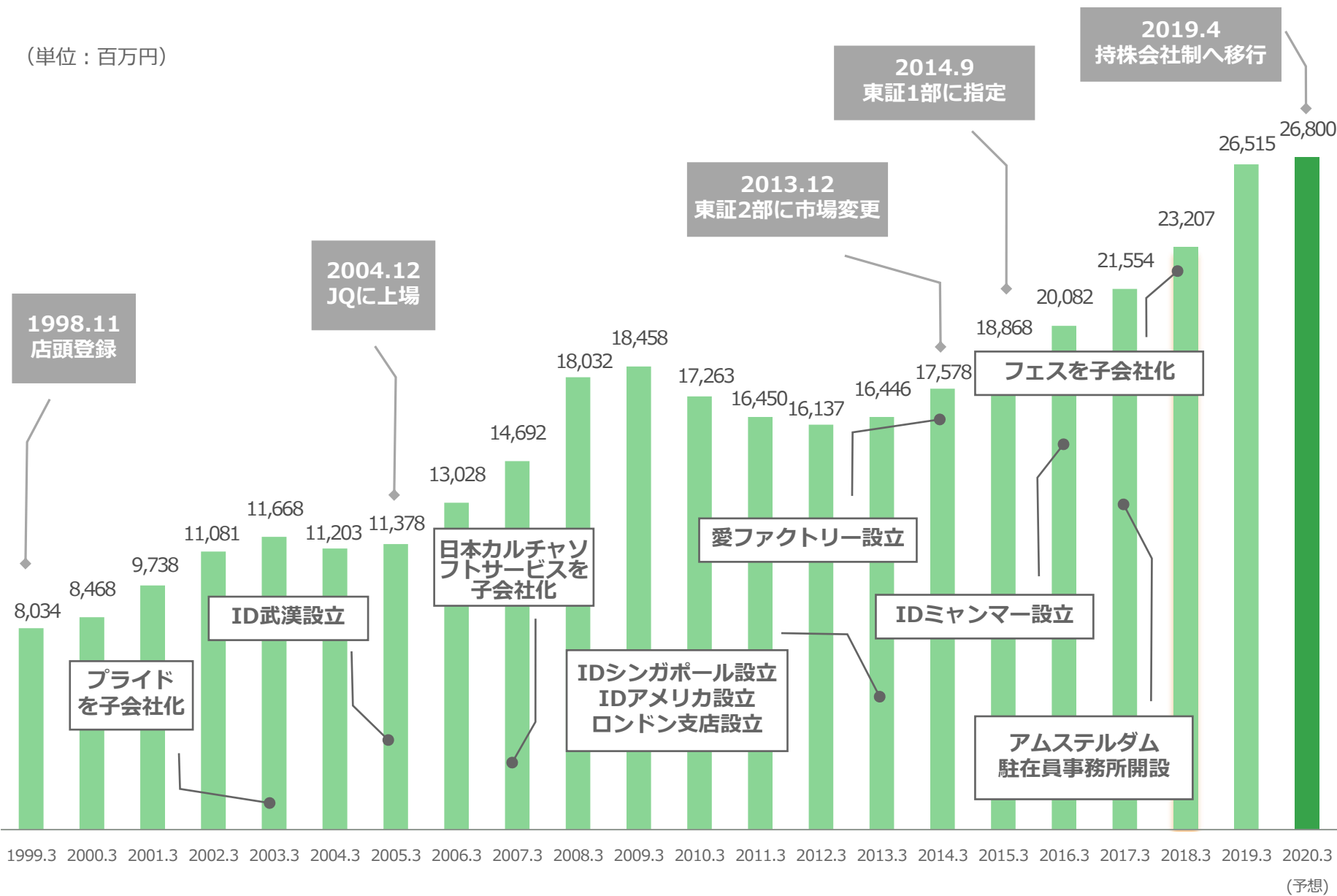
3つの組織/Organization

「前向きな姿勢」を怠らない組織
「明日の組織作り」を怠らない組織
「人間力作り」を怠らない組織

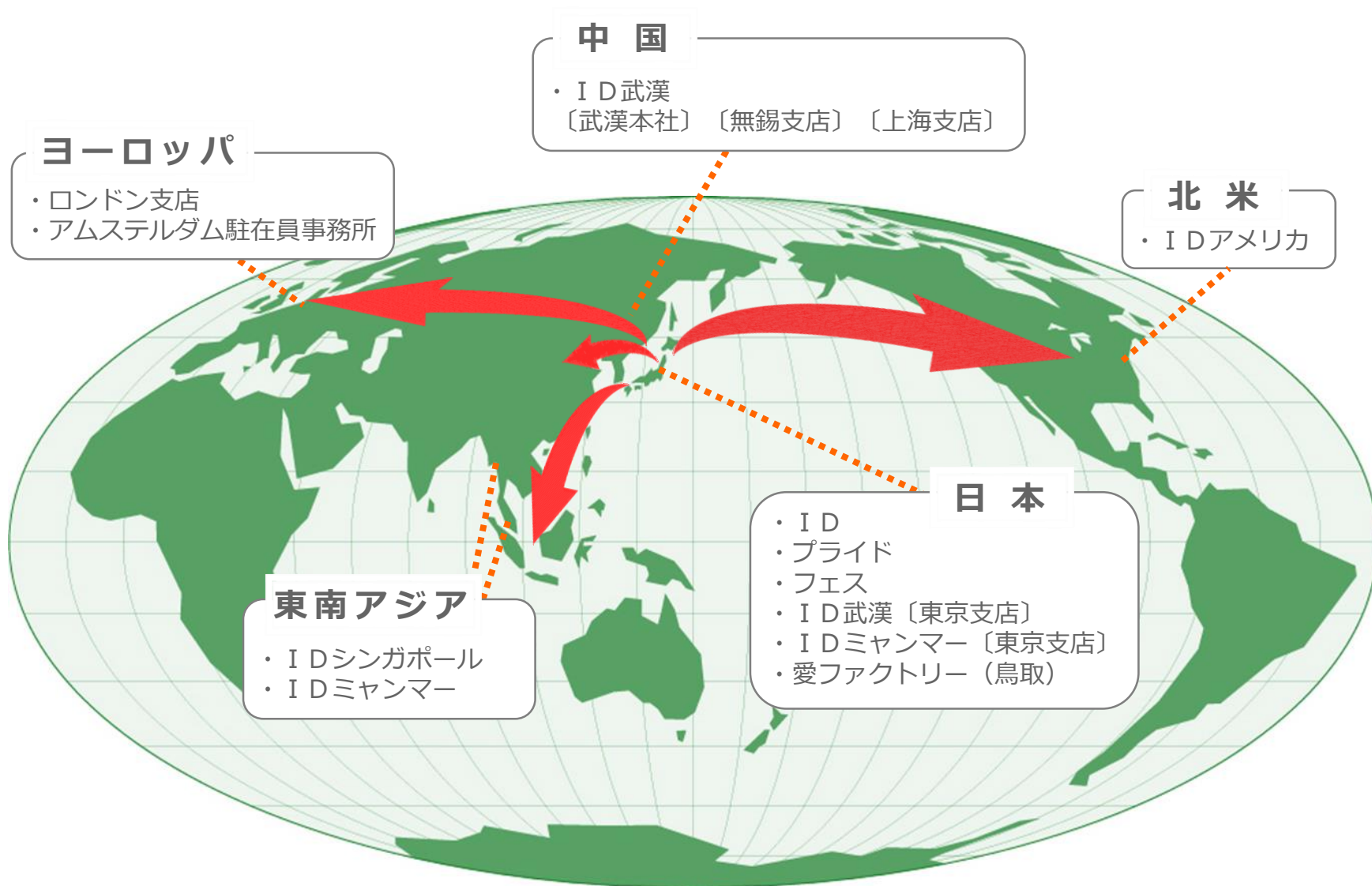
三命/Attributes

卓越した技術(High Technology)はIDグループの生命
高品質のサービス(High Quality)はIDグループの使命
未知への挑戦(Challenge)はIDグループの命題

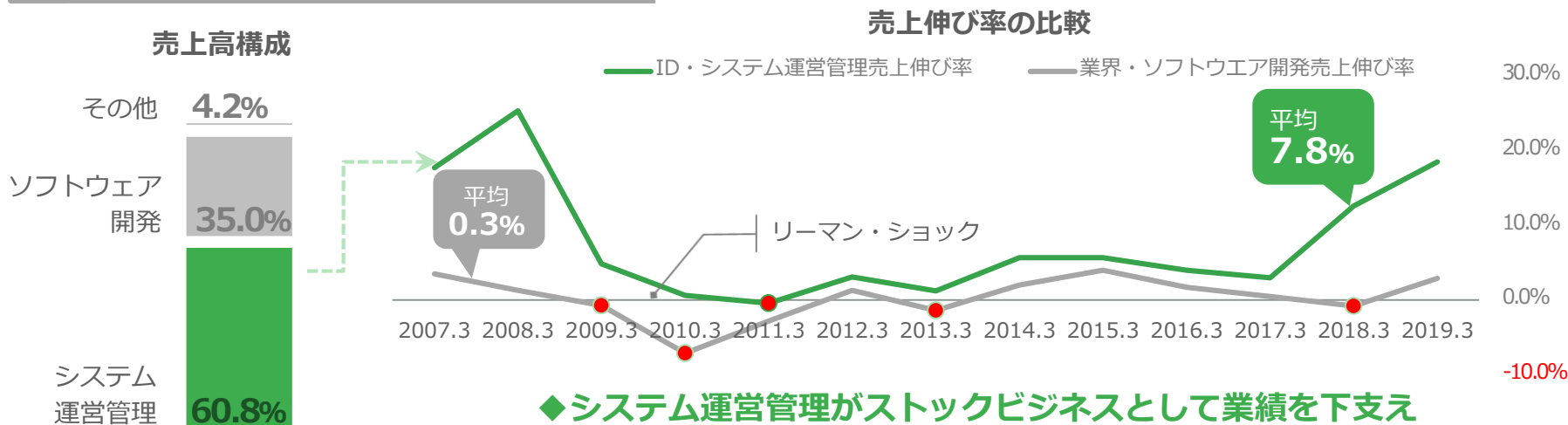
(単位：百万円)



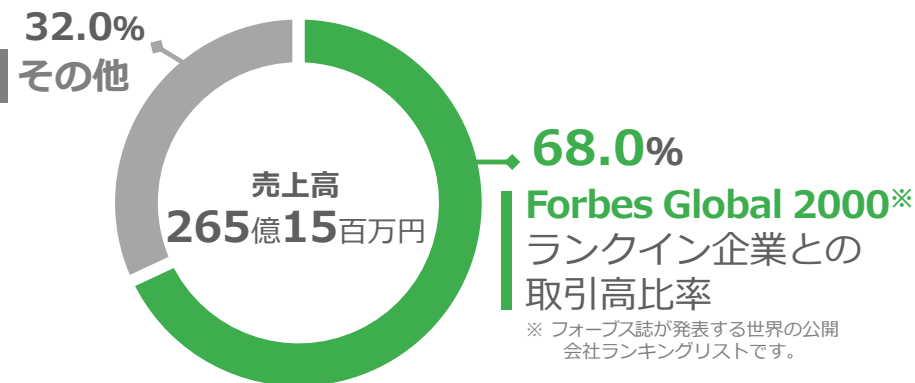
Change or Die!



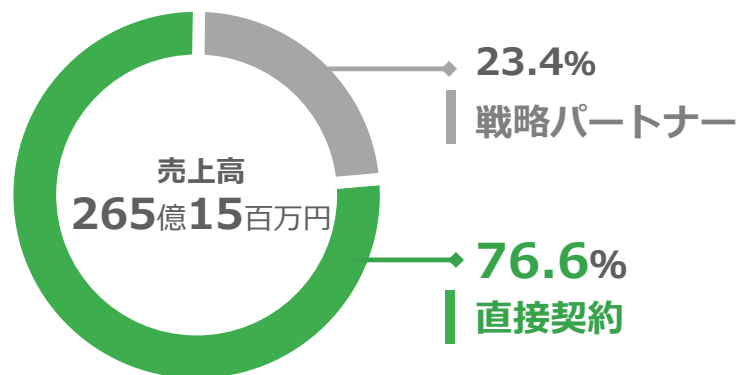
1 システム運営管理が6割超



2 グローバル大手企業との取引高が7割弱

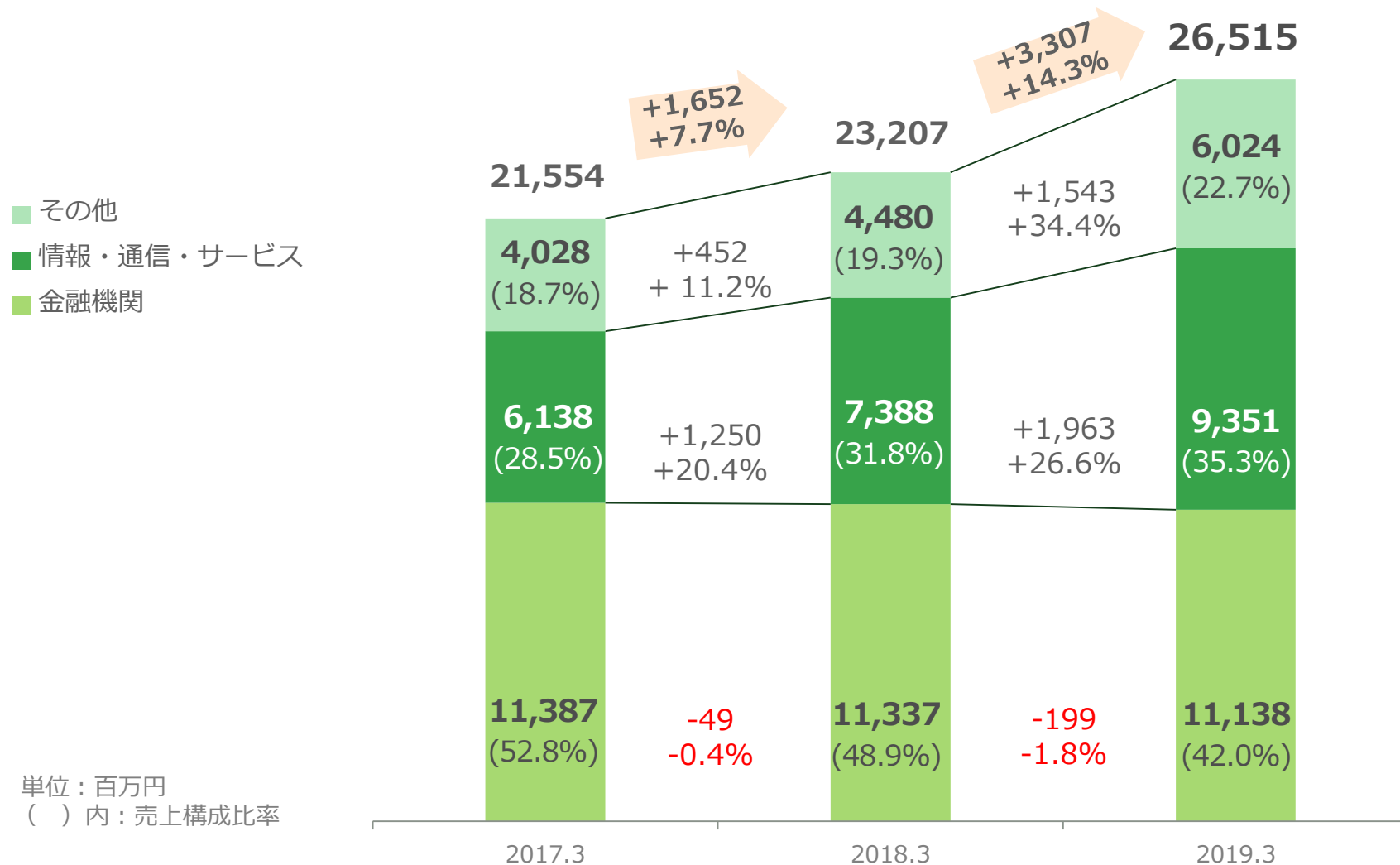


3 直接契約が8割弱



◆IT投資に積極的な大手企業と安定的な取引

◆顧客ニーズを直接把握し、的確な提案につなぐ

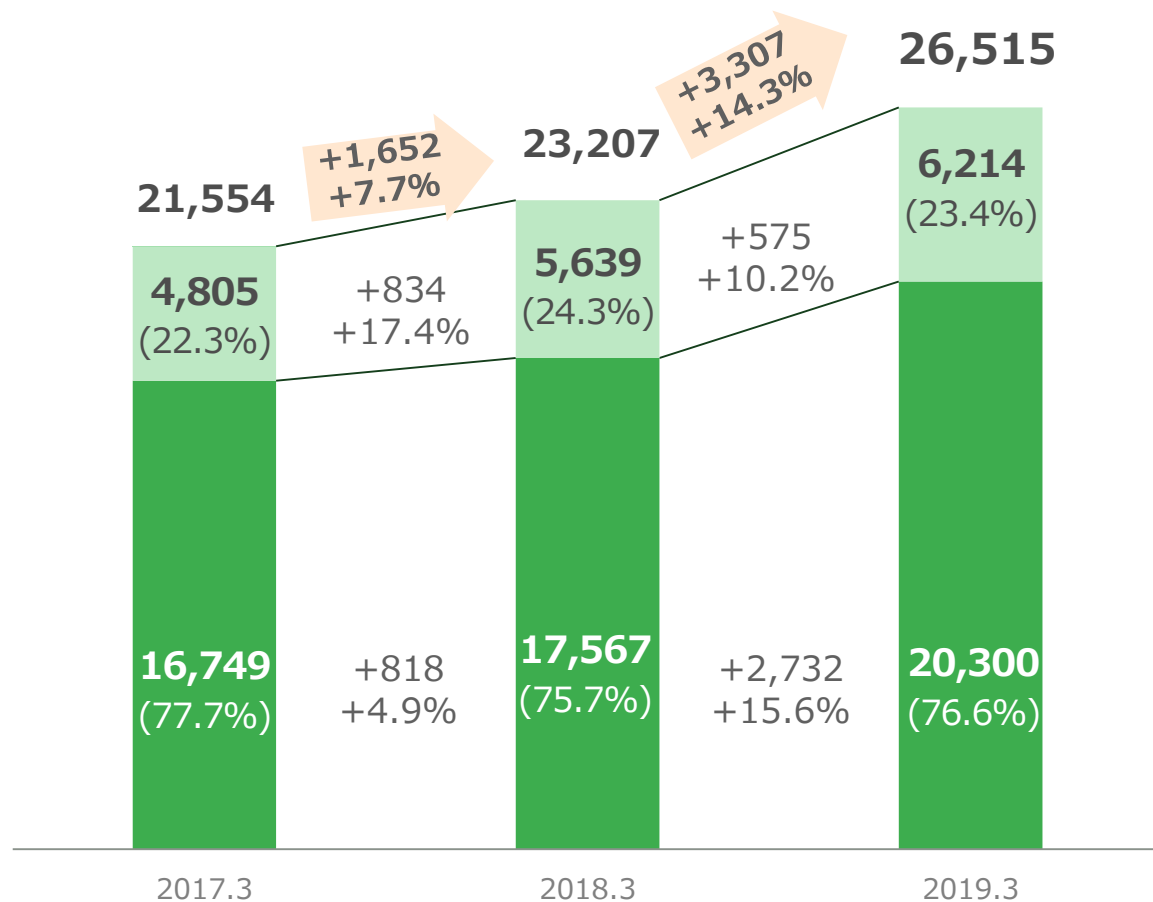


単位：百万円
 () 内：売上構成比率

Change or Die!

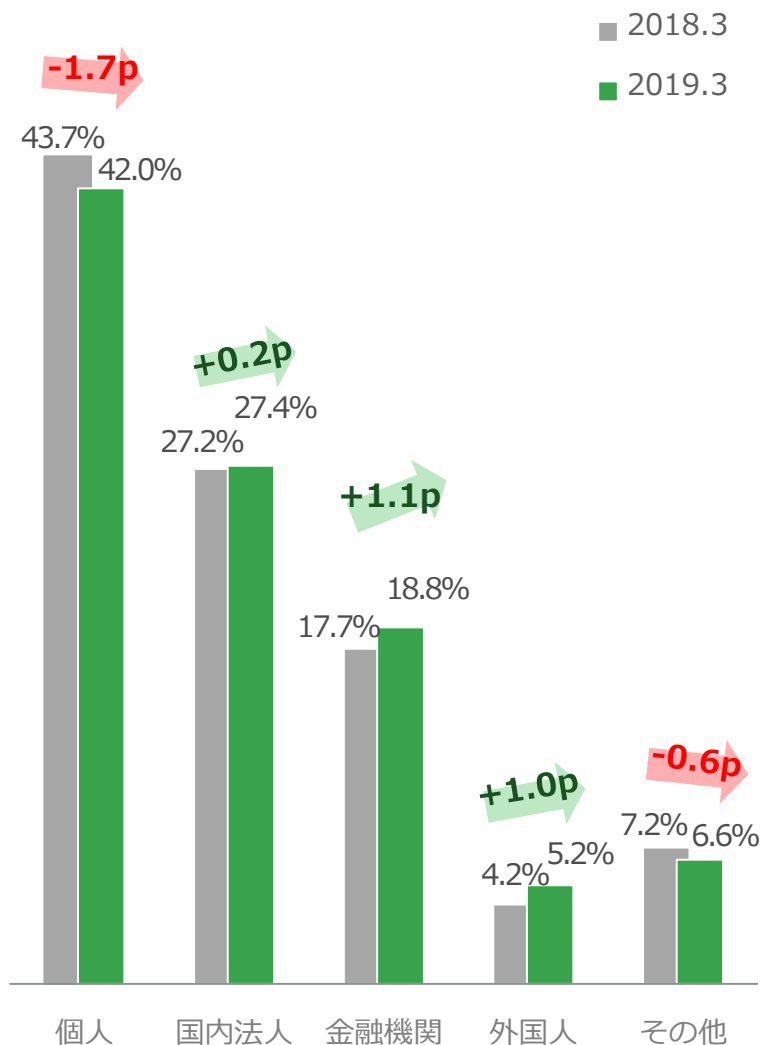
- 戦略パートナー
- 直接契約

単位：百万円
()内：売上構成比率



■ 直接契約	■ 戦略パートナー
✓金融機関、エネルギー、運輸、製造	✓大手ベンダー

株主構成の推移



主要株主

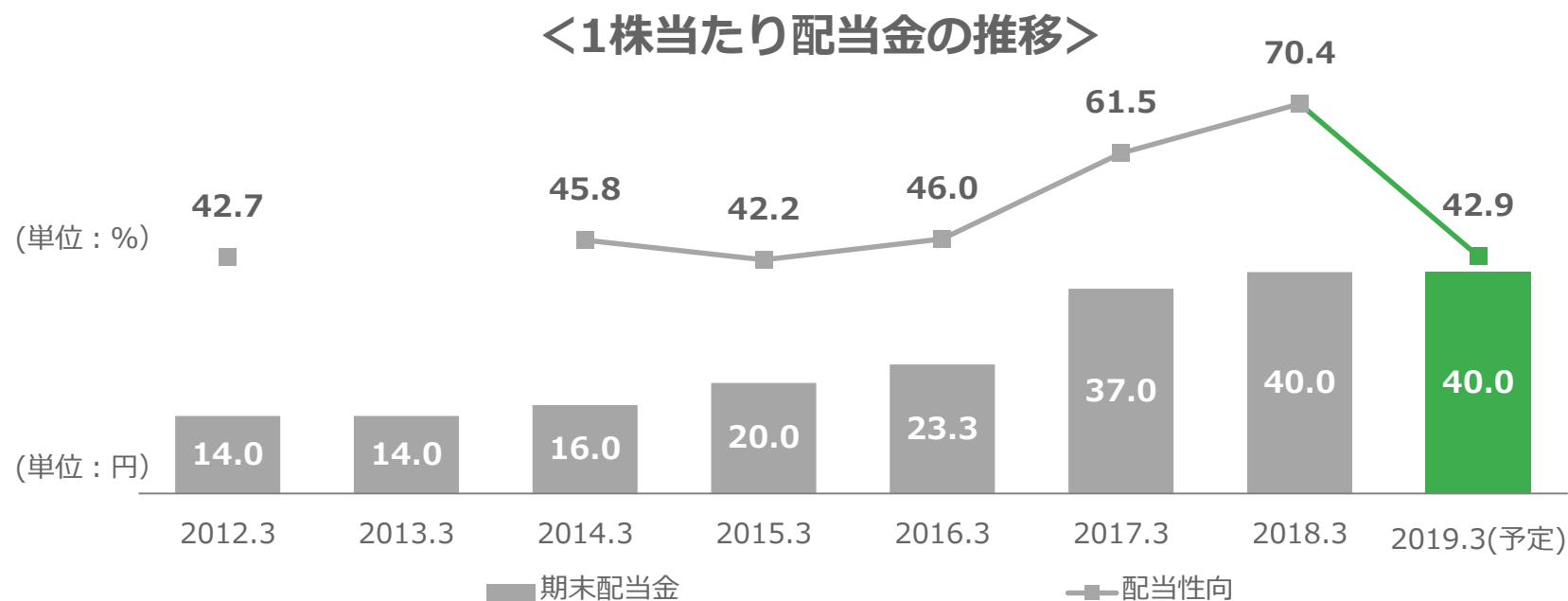
- ✓ 株主総数3,910名 (2018年3月末比160名増)
- ✓ 議決権を有する株主総数3,464名 (2018年3月末比165名増)
- ✓ 下記の持株比率は、自己株式 (633千株) を発行済株式総数から控除して算出しております。

順位	主要株主	持株比率 (%)
1	株式会社エイ・ケイ	10.90%
2	株式会社みずほトラストシステムズ	8.97%
3	ID従業員持株会	6.41%
4	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	4.57%
5	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3.79%
6	みずほ信託銀行株式会社	3.70%
7	資産管理サービス信託銀行株式会社 (信託E口)	2.87%
8	有限会社福田商事	2.62%
9	TDCソフト株式会社	2.48%
10	船越朱美	1.73%

2019年3月期期末配当 **40円** (予定)

基本的な配当方針

強固な経営基盤の確保、安定収益、およびROEの向上に努め、業績に裏付けられた適正な利益配分を継続する

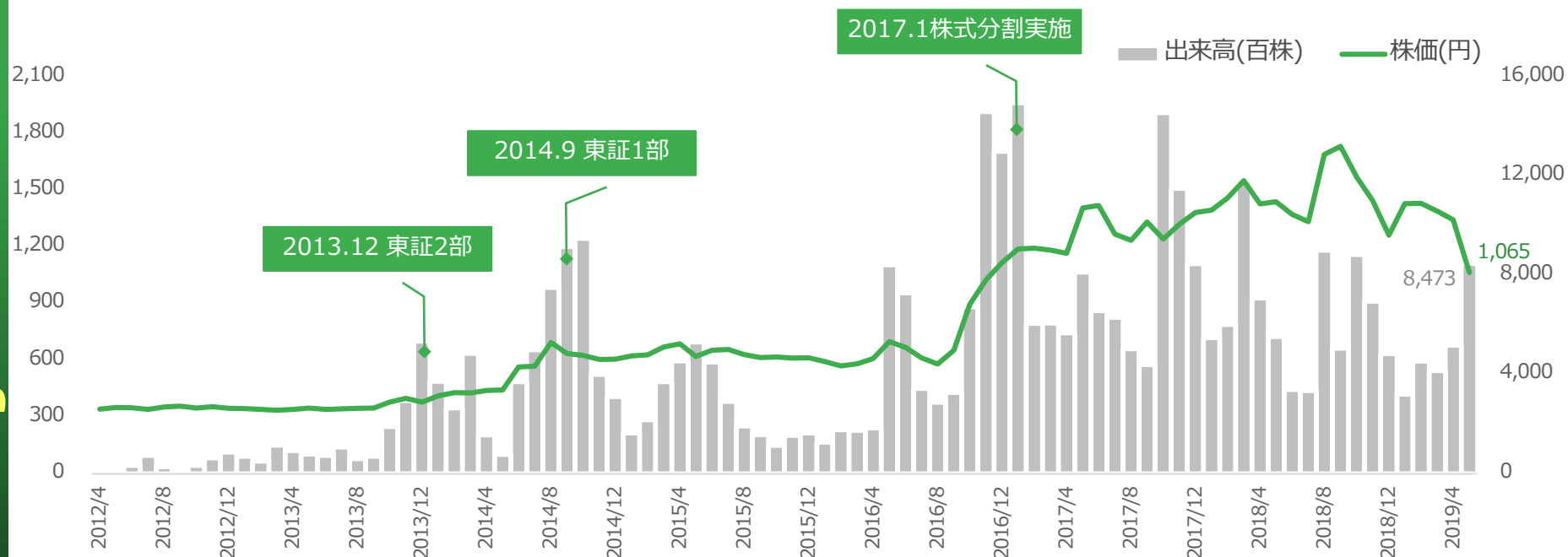


※当社は2017年1月1日付で、普通株式1株につき1.5株の株式分割を行っております。

2016年3月期以前の配当金の額につきましては、上記株式分割にともなう修正換算をしております。

売買回転率 85.6% (2017.4-2018.3)

59.7% (2018.4-2019.3)



時価総額 12,827百万円 (2019/5/31時点)

発行済株式数 12,044,302株 (単元株：100株)

(注1) 2012年4月～2016年12月の株価につきましては、株式分割にともなう修正換算をしております。

(注2) 出来高は各月の累計、株価は各月の終値を記載しております。

1

What`s ID Group?

2

2019年3月期決算概況

3

Next 50 Episode I 覚醒 (Awakening) !

5月
May

- 29日** ID、リアルグローブ、日立システムズの3社が協業し、ドローン等からの取得情報を地図上に共有するプラットフォームのアプリアンス版、「Hec-Eyeパッケージ」を販売開始
- 8日** 当社取締役会の実効性に関する評価結果

4月
Apr.

- 22日** 「禁煙推進企業コンソーシアム」に参画
- 1日** 会社分割による持株会社制への移行完了に関するお知らせ

3月
Mar.

- 18日** 「内部統制システムの整備に関する基本方針」の改定
- 1日** 当社ミャンマー子会社の東京支店営業開始

2月
Feb.

- 15日** 持株会社制への移行にともなう組織変更ならびに人事に関するお知らせ

1月
Jan.

- 24日** 持株会社制への移行に係る新設分割計画ならびに定款の一部変更に関する臨時株主総会付議議案の承認可決

12月 Dec.

- 28日 「株主手帳2019年1月号」に、社長舩越のインタビュー記事が掲載
- 11日 メセナ活動の一環としてクリスマスコンサートを開催
- 7日 パリ木の十字架少年合唱団コンサートに協賛

11月 Nov.

- 29日 ベンチャーファンド「GoAhead Ventures II.L.P.」への出資
- 16日 「IR向上企業」に選定
- 8日 「MSS(マネージド・セキュリティ・サービス)for Seceon OTM」を開始
- 1日 ASOCIO Digital Masters Summit 2018に協賛

10月 Oct.

- 31日 会社分割（新設分割）による持株会社制への移行、定款の一部変更および臨時株主総会招集のための基準日設定等
- 31日 「RPA業務改革サービス」を開始
- 26日 2019年3月期第2四半期、通期の業績予想を上方修正
- 5日 オランダ王国 ザ・ハーグ・セキュリティ・デルタに日本企業として初加盟

9月
Sep.

- 26日 ピーチクリーンボランティア活動を実施
- 18日 ベンチャーファンド「ff Graphite (v), L.P.」への出資

8月
Aug.

- 31日 アイルランドActionPoint Technology Groupとアジャイル開発に関する覚書締結
- 31日 慶應義塾大学とサイバーセキュリティ分野での協業を開始

7月
Jul.

- 26日 鳥取県男女共同参画推進企業に認定され、「輝く女性活躍パワーアップ企業」に登録
- 23日 AWSのパートナーに認定
- 11日 メセナ活動の一環としてサマーコンサートを開催

6月
Jun.

- 25日 中国子会社ID武漢、中国政府から表彰
- 14日 会社分割（新設分割）による持株会社制への移行の延期および定時株主総会付議議案の一部取り下げならびに役員報酬の減額

4月
Apr.

- 24日 大山開山1300年祭に向けた環境整備事業に寄付
- 16日 「第5回IRグッドビジュアル賞」を受賞
- 3日 オランダIndica Holding B.V.との協業契約締結

**過去最高
を更新**

- ・ 売上高 7期連続増加、前年同期比14.3%増
- ・ 営業利益 6期連続増加、同32.9%増
- ・ 経常利益 3期連続増加、同35.3%増
- ・ 親会社株主に帰属する当期純利益 同65.2%増

売上高について

システム運営管理 (161億8百万円、同18.5%増)

- ⊕ 買収した株式会社フェスの寄与
- ⊕ 公共系プラットフォーム開発の売上高増加
- ⊖ 金融系プラットフォーム開発の売上高減少
- ⊖ 金融系運営管理業務の売上高減少

ソフトウェア開発 (92億82百万円、同9.2%増)

- ⊕ 公共系大型プロジェクトの受注
- ⊖ 金融系、運輸系大型プロジェクトの収束

その他 (11億24百万円、同0.5%増)

- ⊕ コンサルティング業務の売上高増加
- ⊖ サイバーセキュリティ関連の売上高減少

収益について

- ⊕ 増収にともなう増益
- ⊕ 収益性の向上に向けた営業努力
- ⊕ プロジェクト管理の強化による生産性向上
- ⊕ 株式会社フェスの相乗効果
- ⊖ 株式会社フェス本社移転費用の計上
- ⊖ 前期のソフトウェア開発にかかるアフターコスト等の計上

1

What`s ID Group?

2

2019年3月期決算概況

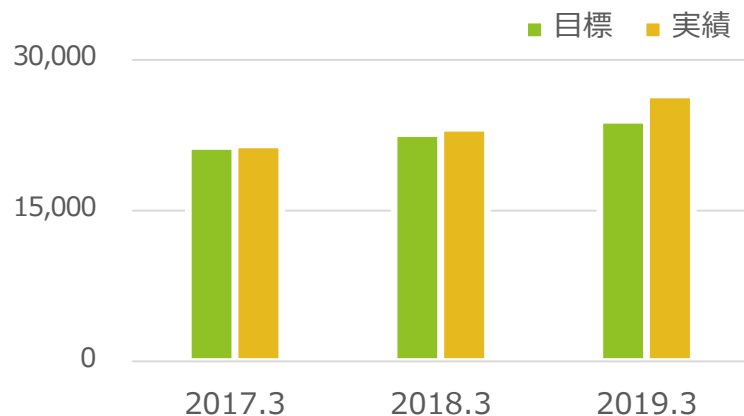
3

Next 50 Episode I 覚醒 (Awakening) !

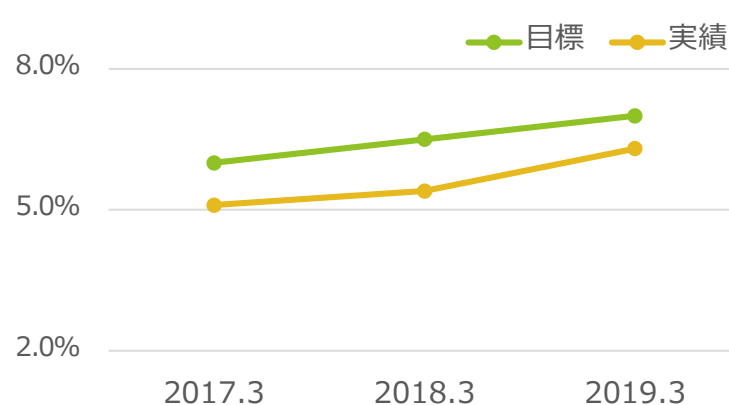
- 売上高240億円、営業利益率7%を目標に、働き方改革+3つの基本方針（徹底した業務プロセスの改革、新たな成長分野の構築、グループのガバナンス強化）を推進した。
- 売上高は7期連続で増収となり、営業利益は6期連続、経常利益は3期連続で増益となり、当期純利益も含めいずれも過去最高を更新した。

(単位：百万円)	2019.3計画 (2016/4作成)	2019.3	計画比	2019.3予想 (2018/10修正)
売上高	24,000	26,515	+2,515	26,600
営業利益	1,680	1,667	-13	1,640
営業利益率	7.0%	6.3%	-0.7%	6.2%

<売上高> 単位：百万円



<営業利益率>



■ 金融系システム統合案件やエネルギー系企業の開発案件の受注好調ならびに株式会社フェスの100%子会社化により売上高は目標達成。

■ 働き方改革やBPRの実現で営業利益率は改善したが、最終目標に届かず4.8%(2016.3)→5.1%(2017.3)→5.4%(2018.3) → 6.3%(2019.3)

⊕ プラス要素

- ・顧客企業のDX推進に関する旺盛なニーズ
- ・当社グループの技術者スキルシフト（DX）による売上高顕在化
- ・ITコンサルティングやサイバーセキュリティに対する顧客投資額の増加

⊖ マイナス要素

- ・一部の大手金融機関におけるシステム統合の完了
- ・エネルギー企業向け大型ソフトウェア開発案件の終了
- ・DXサービスへの移行期間



- ・従来型サービスからデジタル技術を活用したサービスへの移行
- ・新中期経営計画の3年間は、次の50年に向けた成長基盤の構築に向け、DX技術者の教育投資に注力

Next 50 Episode I 覚醒 (Awakening)!

1 未来志向型企業文化の醸成

- ・人的資源マネジメント (HRM)
- ・ダイバーシティ&インクルージョン継続的な推進
- ・レガシーITエンジニア集団とアドバンスト・テクノロジーITエンジニア集団の共存と共栄 (緩やかな移行)



2

デジタルトランスフォーメーション (DX) によるUP-Gradeされた Business Modelの展開

- ・レガシーITエンジニア集団からアドバンスト・テクノロジー・ITエンジニア集団との共存へ

3 ESG※の推進

- ・IT技術の提供を通じた社会貢献
- ・多様な人財の育成/活躍推進
- ・コーポレートガバナンスの強化
- ・フィランソロピー (慈善活動)

※ESG: Environment (環境)、Social (社会)、Governance (企業統治) の頭文字。各分野への適切な対応が企業の長期的成長の原動力となり、持続可能な社会の形成に役立つという考え方。

(百万円)	実績	目標		
	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
売上高	26,515	26,800	工事中	30,000

DXを活用した**新たなビジネスモデルの構築**に向けて積極的に投資を行う。

教育投資

- ・ AI技術者、高度サイバーセキュリティ技術者、ITIL技術者、RPA技術者など

システム投資

- ・ 人財マネジメントシステムの構築・導入など

ファンド投資

- ・ 最先端IT技術の情報収集および当社事業への応用
- ・ 先端技術を持つベンチャー企業との提携を探る

	2019.3		2020.3計画				
	(単位：百万円)	実績	構成比	計画	構成比	増減額	増減率
売上高		26,515	-	26,800	-	+284	+1.1%
営業利益		1,667	6.3%	1,670	6.2%	+2	+0.2%
経常利益		1,724	6.5%	1,710	6.4%	-14	-0.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益		1,028	3.9%	1,060	4.0%	+31	+3.1%
1株当たり 当期純利益(円)		93.15	-	95.64	-	+2.49	-

免責事項

本プレゼンテーション資料には、株式会社 IDホールディングスの業績予想、将来戦略、事業計画などの将来情報や経済動向、他社との競争状況などの潜在的リスクや不確実な要素が含まれています。

これらの歴史的事実以外の情報に含まれる予測及び計画は、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断しています。

その為、実際の業績、事業展開または財務状況は、今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な原因により、記述されている将来予測及び計画とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。